



# 適応性<sup>®</sup>

「適応性」の資質が顕著な人は、流れに沿って進むことを好みます。「今」を大切にし、それぞれの時点で進む方向をひとつずつ選択することにより、将来を見極めます。

「適応性」の才能が強い人は、その瞬間を生きています。将来をすでに決まっているものとは考えていません。そうではなく、今選ぶ選択肢によって作り出すことのできる場所だと考えています。彼らは1つひとつ選択しながら将来を見つけていきます。これは計画性がないということではありません。彼らの持つ「適応性」という才能は、たとえ状況が計画から外れたものになっても、その時の要求に積極的に対応する能力をもたらしています。彼らは急な要求や予期せぬ回り道を不快に感じたりしません。そうなることを予期しています。実のところ、彼らはある程度それを待ち望んでいます。彼らは本質的に非常に柔軟で、状況によって一度にさまざまな方向へと引き込まれても、生産性を維持することができます。

## 能力と優位性

「適応性」の才能を持つ人のすばらしさは、混乱への対処方法にあります。他の人なら怖がったり委縮したりするような状況でも、迅速に方向を変えて対応します。「適応性」の才能が高い人は、予期せぬ出来事が起こったときも、前進し続けるための方法を見つけます。その時々に対応できる彼らの天賦の才能は、他の人が進む道を見つけるのに役立ちます。

### 「適応性」が上位資質である人：

緊急時にすばやく対処するようにします。変化に対して前向きでいきましょう。

- 物事をうまくこなす能力は、変化にうまく対応できない人を安心させる影響力を持っています。この優れた能力を使って、あなたの考えを必要とする人々をサポートできるようにすることで、ストレスに対処しましょう。
- プレッシャーがかかる状況では、同僚がストレスを緩和して前に進むための生産的な方法を見つけられるように手助けします。彼らをプレッシャーから解放してあげてください。
- ゆったり構えていることを詫げる必要はありません。代わりに、もしこの瞬間をつかまなければ、どれほどの経験が失われるかを周りの人が理解できるように手助けします。
- きっちりとスケジュールが組まれている仕事や、結果が予測できるような仕事は避けるようにします。このような仕事はストレスとなり、自分が無力で抑圧された存在だと感じるようになります。
- このような仕事に対してはすぐにフラストレーションが溜まり、無力感が募り、さらに自立性が損なわれてしまいます。「目標志向」、「戦略性」、「信念」などの才能が高い人は、あなたが長期目標を形成し、日々の変化に誰よりもうまく対応するのを助けてくれます。

### 「適応性」が下位資質である人：

「適応性」が上位資質ではないからといって、あなたに柔軟性がないとか、頑固だとか、変化に対応できないというわけではありません。おそらくあなたは、自分の環境に対して統制力を発揮することを好んだり、ある種の日課や仕組みに心地よさを感じるタイプの人なのでしょう。

- 状況が変化したり、自分の計画を断念しなければならなかったりしたとき、フラストレーションを感じるかもしれません。このような状況では、あなたは一呼吸おいて優先順位をリセットしたり、新たな計画を立てるなどして、制御を取り戻したいと考えます。
- これは、あなたや周りの人が不確定要素や変更点を整理する必要があるときです。この場合、どのような作業、機能、活動が必要かを見つけ出すようにします。過程ではなく、結果に集中してください。そこにたどり着くのに最適な方法を見つけてください。
- 変化が起こったときは、あなたにとって時間をかけて全体像を振り返ることが重要になるかもしれません。物事が起きている理由を理解することは、再び軌道に乗せたり、新たな基準に沿うルーチンワークを新しく確立するのに役立つでしょう。